

講義コード	21H0122501	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	川野 良信	開講期	2期
科目名	地球環境システム論				川野 良信			2期	
履修前提条件									
授業の目的	エネルギーの起源と考えられる太陽について概観し、エネルギー発生システムについて考える。また、地球環境と大気、水、大陸を総合的に理解し、地球環境問題についての見識を養うことを目的とする。トピックス的な内容を取り上げ、最新の地球環境について正しい理解を促す。								
到達目標	地球環境を考える際に、様々な諸現象を結びつけ総合的に理解できるようになる。環境問題についても正しく理解でき、適切な対応を考え、人に説明できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この講義では60時間の授業外学修が必要である。講義の内容は第1回から13回まで知識の積み重ねとして行われるので、講義中に出てきた自らが理解できない専門的な用語や事象については、次の講義までに図書館や学習用PCを用いて必ず調べ、授業外学修時間内に復習しておくこと。								
授業計画	<p>本講義では、毎回の授業において小テストを実施し、最終的な評価に反映させる。</p> <p>【第1回】太陽エネルギーと地球環境 太陽から受けるエネルギーと環境変化 【第2回】固体地球の仕組み(1) 地球の形成と内部の運動 【第3回】固体地球の仕組み(2) プレート運動とその影響 【第4回】地球環境における水(氷)の役割 水の三態と環境への影響 【第5回】水環境にみる地球環境の変化 氷床と地下水にみる環境変動 【第6回】地球環境と海洋の働き 水循環とエネルギー輸送 【第7回】地球環境と大気の運動 大気の構造と大循環 【第8回】地球環境問題(1) エルニーニョと南方振動 【第9回】地球環境問題(2) 地球温暖化の原因と影響 【第10回】地球環境問題(3) オゾン層の破壊と復元 【第11回】地球環境問題(4) 大気汚染とその対策 【第12回】地球環境問題(5) 酸性雨とその原因 【第13回】地球環境問題(6) 土壌環境の劣化と砂漠化</p> <p>都合によって内容を変更する場合もある。</p>								
成績評価の方法	毎回実施する小テスト(30%)と期末テスト(70%)で評価する。なお、期末試験は全て持ち込み不可の通常の試験として行う。ただし、出席が全講義回数の2/3に達しない場合は成績評価の対象としない。								
フィードバックの内容	毎回実施する小テストについては、ポータルサイト等を用いて模範的な回答の説明を行う。								
授業実施形態について	基本的には対面授業によって実施するが、オンライン授業を実施する場合もある。オンライン授業はオンデマンド型で実施する。								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
教員からのお知らせ	毎回記述式の小テストを実施するので、この小テストを「自らの学修の確認」と前向きに捉えることができる受講者を望みます。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部・学科で定めるオフィスアワーにて対応します。また、ポータルサイトにてお知らせします。								
アクティブ・ラーニングの内容	教員からのフィードバックによる振り返り								
実践的な教育内容									
その他									